

2026年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年10月9日

東

上場会社名 ニッケ (日本毛織株式会社) 上場取引所
 コード番号 3201 URL <https://www.nikke.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長岡 豊
 問合せ先責任者 (役職名) 経営戦略センター経理室長 (氏名) 石田 保史 TEL 06-6205-6635
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年11月期第3四半期の連結業績 (2025年12月1日～2026年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年11月期第3四半期	89,186	2.4	8,673	13.1	9,730	13.0	7,044	26.9
2025年11月期第3四半期	87,092	8.0	7,670	△1.6	8,614	3.8	5,552	△17.2

(注) 包括利益 2026年11月期第3四半期 14,790百万円(74.3%) 2025年11月期第3四半期 8,485百万円(△4.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年11月期第3四半期	107.13	—
2025年11月期第3四半期	80.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年11月期第3四半期	197,249	139,753	70.7	2,141.41
2025年11月期	189,756	132,152	69.4	1,964.90

(参考) 自己資本 2026年11月期第3四半期 139,475百万円 2025年11月期 131,654百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年11月期	—	17.00	—	30.00	47.00
2026年11月期	—	18.00	—	—	—
2026年11月期(予想)	—	—	—	42.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
 2026年11月期(予想) 期末配当金の内訳 : 普通配当32円00銭、記念配当10円00銭

3. 2026年11月期の連結業績予想 (2025年12月1日～2026年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	130,000	8.9	13,000	9.1	13,400	3.3	9,500	4.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 2社(社名) 株式会社カコテクノス、除外 1社(社名) 株式会社ニッケ・マーキュリー
サンテック株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年11月期3Q	74,278,858株	2025年11月期	74,278,858株
2026年11月期3Q	9,146,109株	2025年11月期	7,275,584株
2026年11月期3Q	65,758,789株	2025年11月期3Q	68,986,501株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料記載の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、上記の予想と実績との間には、今後の様々な要因によって差異が生じる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(第3四半期連結累計期間)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(第3四半期連結累計期間)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(会計方針の変更)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	11
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

ニッケグループは、中長期ビジョン「ニッケグループRN（リニューアル・ニッケ）130ビジョン（2017～2026年度）」（以下「RN130ビジョン」という）において、各事業が魅力的な事業を創造し、今後の更なる企業価値向上に向けて、永続的な成長と発展を目指すことを掲げております。

当連結会計年度は、「RN130ビジョン」の最終フェーズとなる「RN130第3次中期経営計画（2024～2026年度）」の最終年度であり、ビジョン達成に向けた総仕上げの一年となります。国内外の経済環境は先行き不透明な状況が続いておりますが、この様な環境変化にしなやかに対応し、過去最高の売上高、各利益を更新することを目指し、「RN130ビジョン」の実現に向けた施策を実行しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高89,186百万円(前年同期比2.4%増)、営業利益8,673百万円(前年同期比13.1%増)、経常利益9,730百万円(前年同期比13.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益7,044百万円(前年同期比26.9%増)となりました。

衣料繊維事業は、昨年度から続くスクールユニフォームの流通在庫過多の影響により低調に推移しましたが、産業機材事業において当期より株式会社カコテクノス（以下「カコテクノス」）が連結業績に寄与したことや、人とみらい開発事業で、2025年1月に竣工した「八重洲通フィルテラス」の収益貢献により不動産賃貸事業が好調だったこと等から、増収増益となりました。

各事業セグメントの概況は以下のとおりです。

①衣料繊維事業

衣料繊維事業の当第3四半期連結累計期間の業績は売上高20,458百万円(前年同期比2.1%増)、営業利益464百万円(前年同期比38.8%減)となりました。

(ユニフォーム分野)

学校制服用素材は、昨年度から続く流通在庫過多の影響により、不調でした。官公庁制服用素材は、警察向けは前年同期並み、消防向けは低調でした。一般企業制服用素材は、大口物件の納品があり好調でした。

(テキスタイル分野)

一般衣料用素材は、国内では、スーツ生地等の販売が堅調でした。海外では、中国向けの販売が回復し堅調でした。ニット関連は、編地の販売は不調でしたが、糸・製品の販売は好調でした。

②産業機材事業

産業機材事業の当第3四半期連結累計期間の業績は売上高29,735百万円(前年同期比14.2%増)、営業利益2,341百万円(前年同期比29.2%増)となりました。

(モビリティ関連分野)

自動車向けの不織布等は、不採算品の整理・縮小の影響をその他の製品販売でカバーし、売上は堅調でした。エアバッグ用縫製糸等の資材は、顧客からの引き合いが増加し好調でした。車載電装品他製造ラインのファクトリーオートメーション設備は、顧客の設備投資抑制から受注、売上共に低調でした。また、当期より連結の範囲に含めたカコテクノスが業績に貢献しました。

(環境関連分野)

環境・エネルギー関連資材は、低調でした。

(その他産業関連分野)

OA向け資材は低調でしたが、その他工業用資材は堅調でした。半導体関連装置や画像検査装置は、好調でした。

(生活関連分野)

ラケットスポーツ関連及びフィッシング関連は、前年同期並みでした。楽器用フェルトは、中国市況低迷の影響を受け不調だった前期との比較では増収となりました。衛生材料用不織布は、新規案件の引き合いもあり堅調でした。

③人とみらい開発事業

人とみらい開発事業の当第3四半期連結累計期間の業績は売上高18,884百万円(前年同期比5.4%減)、営業利益5,899百万円(前年同期比12.0%増)となりました。

(商業施設運営分野)

商業施設運営は、イベント企画や新規店舗開店の効果等により来館者数が増加しました。自社所有外の商業施設におけるプロパティマネジメント及びコンサルティング業務は、前年同期並みでした。

(不動産開発・建設分野)

不動産賃貸事業は、高い入居率を維持し安定収益を確保したことに加え、2025年に竣工したオフィスビル「八重洲通フィルテラス(東京都中央区)」や賃貸住宅「SEAVE夙川(兵庫県西宮市)」が収益に寄与したこと、八重洲通フィルテラス竣工に伴う開業経費が当期は発生しなかったことから、好調でした。ソーラー事業は、天候等の影響を受け低調でした。建設関連は、前年同期並みでしたが、収益性が改善したこと等が寄与し、増益となりました。

(ライフサポート分野)

保育関連は、一部施設の閉鎖等に伴い減収となりました。介護関連は、前年同期並みでした。スポーツ関連は、ゴルフは天候の影響も受け低調でしたが、テニスは堅調でした。

(通信及び新規サービス分野)

収益性と事業リスクを考慮し事業から撤退しました。

④生活流通事業

生活流通事業の当第3四半期連結累計期間の業績は売上高16,617百万円(前年同期比7.9%減)、営業利益903百万円(前年同期比0.9%増)となりました。

(寝装品及び業務用品分野)

寝装品は、不採算商品の整理・縮小を進めたことで売上は不調でした。業務用品は、航空機内膝掛け等の受注が安定的に推移し前年同期並みとなりました。

(生活雑貨分野)

家具類販売は、前年同期並みでした。100円ショップ向け等の雑貨販売は、不調でした。生活家電は、季節商戦が奏功し前年同期を上回りました。フィルム関連は、学校用タブレット向けやゲーム機向けの販売が好調でした。

(ホビー・クラフト分野)

スタンプ販売は、主力商品が苦戦し低調でした。スタンプ用インクも、海外販売の苦戦等で低調でした。乗馬用品販売は、価格改定の効果もあり好調でした。

(その他)

保険代理店は、新商品の販売が寄与し好調でした。コンテナ販売は、受注減少により不調でした。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(流動資産)

当連結会計年度における流動資産は89,402百万円(前連結会計年度比3.5%減)となりました。その主な内容は、受取手形、売掛金及び契約資産の減少8,846百万円や棚卸資産の増加2,808百万円等であります。

(固定資産)

当連結会計年度における固定資産は107,847百万円(前連結会計年度比11.1%増)となりました。その主な内容は、投資有価証券の増加8,502百万円や建設仮勘定の増加1,702百万円等であります。

(流動負債)

当連結会計年度における流動負債は30,802百万円(前連結会計年度比13.1%減)となりました。その主な内容は、短期借入金の減少2,173百万円や未払法人税等の減少1,116百万円等であります。

(固定負債)

当連結会計年度における固定負債は26,693百万円(前連結会計年度比20.4%増)となりました。その主な内容は、繰延税金負債の増加3,868百万円や長期借入金の増加336百万円等であります。

(純資産)

当連結会計年度における純資産は139,753百万円(前連結会計年度比5.8%増)となりました。その主な内容は、その他有価証券評価差額金の増加7,575百万円や利益剰余金の増加4,009百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年1月15日公表の予想数値より変更ありません。今後、業績に大きな影響を及ぼす事項が発生した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,023	31,445
受取手形、売掛金及び契約資産	27,637	18,790
有価証券	2,300	2,000
商品及び製品	18,955	20,006
仕掛品	6,738	7,251
原材料及び貯蔵品	5,046	6,292
その他	3,067	3,694
貸倒引当金	△80	△78
流動資産合計	92,689	89,402
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	26,146	25,795
機械装置及び運搬具（純額）	6,959	6,463
土地	18,552	18,959
建設仮勘定	481	2,184
その他（純額）	699	927
有形固定資産合計	52,839	54,330
無形固定資産		
のれん	440	325
その他	1,417	1,580
無形固定資産合計	1,858	1,905
投資その他の資産		
投資有価証券	37,066	45,569
長期貸付金	2	2
破産更生債権等	50	43
長期前払費用	214	178
退職給付に係る資産	1,840	1,855
繰延税金資産	1,533	1,270
その他	1,744	2,767
貸倒引当金	△83	△76
投資その他の資産合計	42,369	51,611
固定資産合計	97,067	107,847
資産合計	189,756	197,249

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,783	9,583
短期借入金	11,602	9,429
1年内償還予定の社債	18	14
未払法人税等	2,398	1,282
賞与引当金	2,037	1,661
製品保証引当金	138	93
その他の引当金	3	9
その他	9,450	8,728
流動負債合計	35,433	30,802
固定負債		
社債	23	16
長期借入金	2,600	2,936
繰延税金負債	8,897	12,765
退職給付に係る負債	2,283	2,391
長期預り敷金保証金	6,983	7,278
資産除去債務	283	240
その他	1,099	1,063
固定負債合計	22,170	26,693
負債合計	57,603	57,495
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,465	6,465
資本剰余金	3,910	3,940
利益剰余金	110,766	114,776
自己株式	△7,430	△11,358
株主資本合計	113,712	113,823
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,144	22,720
繰延ヘッジ損益	154	121
為替換算調整勘定	1,283	1,540
退職給付に係る調整累計額	1,359	1,269
その他の包括利益累計額合計	17,942	25,652
非支配株主持分	498	278
純資産合計	132,152	139,753
負債純資産合計	189,756	197,249

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年8月31日)
売上高	87,092	89,186
売上原価	62,695	63,486
売上総利益	24,396	25,700
販売費及び一般管理費	16,726	17,026
営業利益	7,670	8,673
営業外収益		
受取利息	64	70
受取配当金	818	1,002
為替差益	-	20
持分法による投資利益	67	77
付加価値税還付金	211	-
受取補償金	-	156
その他	180	262
営業外収益合計	1,341	1,589
営業外費用		
支払利息	116	134
為替差損	29	-
租税公課	56	68
社宅経費	53	58
その他	142	272
営業外費用合計	397	533
経常利益	8,614	9,730
特別利益		
固定資産売却益	-	85
投資有価証券売却益	-	792
補助金収入	-	284
特別利益合計	-	1,162
特別損失		
減損損失	15	-
関係会社株式売却損	-	80
事業構造改善費用	290	374
特別損失合計	306	454
税金等調整前四半期純利益	8,307	10,438
法人税、住民税及び事業税	2,649	3,182
法人税等調整額	28	179
法人税等合計	2,677	3,361
四半期純利益	5,630	7,076
非支配株主に帰属する四半期純利益	77	31
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,552	7,044

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年8月31日)
四半期純利益	5,630	7,076
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,859	7,575
繰延ヘッジ損益	94	△28
為替換算調整勘定	△86	238
退職給付に係る調整額	△13	△90
持分法適用会社に対する持分相当額	0	18
その他の包括利益合計	2,855	7,714
四半期包括利益	8,485	14,790
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,393	14,754
非支配株主に係る四半期包括利益	91	35

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2026年1月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,898,300株の取得を行ったことを主な要因として、当第3四半期連結累計期間において自己株式が3,956百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が11,358百万円となっております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、重要性が増したため、㈱カコテクノス及びサンテック㈱を連結の範囲に含めております。

第2四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった㈱ニッケ・マーキュリーの全株式を売却したことにより、同社を連結の範囲から除外しております。

(2) 持分法の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年8月31日)
減価償却費	3,051百万円	3,376百万円
のれんの償却額	162	115

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注3)	調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	衣料繊維 事業	産業機材 事業	人とみらい 開発事業	生活流通 事業	合計			
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	20,036	26,034	19,961	18,034	84,066	3,025	—	87,092
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	158	63	548	49	818	—	△818	—
計	20,195	26,097	20,509	18,083	84,885	3,025	△818	87,092
セグメント利益	758	1,813	5,269	895	8,736	220	△1,287	7,670

- (注) 1. セグメント利益の調整額△1,287百万円には、セグメント間取引消去26百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,313百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費等であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器販売等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失及びのれん等の重要な変動について、該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年12月1日 至 2026年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注3)	調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	衣料繊維 事業	産業機材 事業	人とみらい 開発事業	生活流通 事業	合計			
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	20,458	29,735	18,884	16,617	85,696	3,490	—	89,186
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	152	92	718	48	1,013	—	△1,013	—
計	20,611	29,828	19,603	16,666	86,709	3,490	△1,013	89,186
セグメント利益	464	2,341	5,899	903	9,609	276	△1,212	8,673

- (注) 1. セグメント利益の調整額△1,212百万円には、セグメント間取引消去30百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,242百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費等であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器販売等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間(自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	衣料繊維 事業	産業機材 事業	人とみらい 開発事業	生活流通 事業	合計		
売上高							
(1)顧客との契約から 生じる収益	19,976	25,921	17,110	18,034	81,043	2,990	84,033
(2)その他の収益(注2)	60	112	2,850	—	3,023	35	3,058
計	20,036	26,034	19,961	18,034	84,066	3,025	87,092

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器販売等を含んでおります。

2. 「その他の収益」はリース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年12月1日 至 2026年8月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	衣料繊維 事業	産業機材 事業	人とみらい 開発事業	生活流通 事業	合計		
売上高							
(1)顧客との契約から 生じる収益	20,393	29,606	15,784	16,617	82,401	3,459	85,861
(2)その他の収益(注2)	65	128	3,099	—	3,294	30	3,325
計	20,458	29,735	18,884	16,617	85,696	3,490	89,186

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器販売等を含んでおります。

2. 「その他の収益」はリース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

(重要な後発事象)

(完全子会社間の吸収合併)

当社は、2026年9月25日の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社ナカヒロを存続会社、同じく連結子会社であるアカツキ商事株式会社及び佐藤産業株式会社を消滅会社とする吸収合併を実施することを決議いたしました。

1. 合併の目的

少子化や需要構造の変化といったユニフォーム市場の環境変化に対応し、グループ内のユニフォーム事業の意思決定の迅速化及び業務の一元化による高効率な経営体制を構築することを目的としております。

2. 合併の要旨

(1) 合併の日程

当社取締役会決議日	2026年9月25日
合併契約締結日	2026年9月25日
各社臨時株主総会	2026年10月16日(予定)
効力発生日	2026年12月1日(予定)

(2) 合併方法

株式会社ナカヒロを存続会社とし、アカツキ商事株式会社及び佐藤産業株式会社を消滅会社とする吸収合併とします。

(3) 合併に係る割当の内容

当社の完全子会社間の合併であるため、株式及び金銭等の交付はありません。

(4) 結合後企業の名称

株式会社ニッケメイト(2026年12月1日に商号を変更予定)

(5) 消滅会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

3. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号)に基づき、共通支配下の取引として処理する予定であります。